

子規

客員相談役 藤井 基之



『坂の上の雲』という司馬遼太郎原作のテレビドラマが話題になっています。日露戦争でコザック騎兵を破った伊予松山出身の秋山好古よしふる、日本海海戦で参謀として活躍した秋山真之の兄弟と、近代俳句の父といわれる正岡子規の三人を主人公にして、近代日本の勃興期はつこうきを描いた物語です。

正岡子規の本名は正岡常規（幼名は処はえ助、後に升のぼと改名）でしたが、大学生であった二十二歳の時に結核を発病。以後、闘病生活が始まり、明治三十五年に三十五歳の若さで世を去ります。その号を、ホトトギスを意味する『子規』としたことは有名な話で、テレビでもお馴染みです。

たのか、何故、ホトトギスなのかといえますと、ホトトギスという鳥は「血を吐くほどに鳴く」といわれ、結核の喀血かっけつをイメージさせることから、結核にかかった自身をそう名乗ったのだそうです。

明治の文豪、徳富蘆花とくとみろかの作品に『不如帰』という小説があります。この不如帰も実は『ホトトギス』と読みます。この小説は映画化されたり、のぞきからくり（レンズや穴あなごしにある絵を口上に合わせて入れ替えていく見せ物）などで上演され、「鳴いて血を吐くホトトギス」というナレーションが入って大人気となりました。物語は片岡浪子という軍人の娘と川島武雄という陸軍少尉が恋に落ちて結婚するので

すが、浪子が結核にかかってしまい、離婚されてさびしく世を去るという悲しいストーリーです。つまり、昔からホトトギスという鳥は結核を象徴する鳥だったのです。

結核という病気は、今でこそ治療可能な病気ですが、昔は不治の病・亡国病などと恐れられ、明治から昭和の前半までは日本人の死因別順位で常に一位か二位にランクされていました。しかし、抗結核薬の進歩や生活環境が改善されたことよって、昭和三十二年に五十二万人の患者が発生したのをピークに、以後、減少してきました。二〇〇七年には日本の結核罹患率りかんは人口十万人あたり二十・六人、つまり年間約二万人の発生となっています。死

亡率も昔の百分の一以下にまで激減しました。

ところが、実はこの二十・六人という数値、先進国の間では最も高い罹患率なのです。他国を見ると、人口十万人当たりで、英国十三・七人、フランス八・一人、デンマーク七・三人、オランダ六・九人、ドイツ六・七人、イタリア六・六人、スウェーデン六・〇人、オーストラリア五・一人、アメリカ四・七人、カナダ四・六人となっています。ですから世界的に見て、日本は結核の

「中まん延国」とされているのです。

結核予防会によれば、日本が欧米並みに結核を制圧できないのは、国民の結核に対する関心が低下していることもその一因だということです。今日では優れた抗結核薬があり、治療法も確立していますが、油断は大敵。結核は昔の病気ではない、と同会は呼びかけています。

病気は何でもそうですが、病気についてよく知ること。そして、咳が止まらないなどの症状があったらすぐ受診

するなど、早期発見・早期治療が大切です。私も参議院議員時代、結核の制圧対策について国会で質問したことがあります。自分の身体は自分で守らなくてははいけません。

画家、書道家で美食家の北大路魯山人は「つまらないものを食って一向気にしない人間を見ると、ばかにしたくなる」といったそうです。しっかりと栄養豊富な食事をとり、体力をつけておくことは結核予防にも大切なことです。

藤井 基之

- 生年月日 昭和22年3月16日
- 選挙区 参議院比例区
- 当選回数 1回
- 出生地 岡山県岡山市
- 趣味 音楽・読書
- 個人ホームページ

<http://www.mfujii.gr.jp/>

- その他 薬学博士・薬剤師
- 私の政治信条

私の政策の柱はA(エイジフリー)B(バリアフリー)D(ドラッグフリー:薬物乱用のない社会)社会創りです。

高齢者も、障害を持つ方も、国民誰もが安心して暮らし、元気で生活を送ることのできる長寿社会を創るために何が必要か、を政治活動の根底においています。

好きな言葉「昨日の夢は、今日の希望、そして明日の現実」

●活動報告

参院議員厚生労働委員会理事として、食品安全確保のための食品衛生法改正、健康増進法改正、薬事法改正、薬剤師法改正、クリーニング業法改正、国民年金法改正等に関与。

●経歴

- 昭和37年 岡山大学教育学部附属中学校卒業
- 昭和40年 岡山県立岡山操山高等学校卒業
- 昭和44年 東京大学薬学部薬学科卒業
- 昭和44年 厚生省入省
- 平成9年 厚生省退官
- 平成9年 財団法人ヒューマンサイエンス振興財団 専務理事
- 平成12年 日本薬剤師連盟 副会長
社団法人日本薬剤師会 常務理事
- 平成13年 参議院議員
- 平成16年 厚生労働大臣政務官
(平成16年9月~平成17年11月)
- 平成19年 日本薬剤師連盟 顧問

●その他

- 慶應義塾大学薬学部 客員教授
- 昭和大学薬学部 客員教授
- 東邦大学薬学部 客員教授
- 新潟薬科大学 客員教授
- 京都薬科大学 客員教授
- 近畿大学薬学部 客員教授
- 千葉大学薬学部 非常勤講師